

目標の達成指標の考え方について

施策1 医療機能の充実・強化

施策評価シート

取組項目(1) 救急・災害医療機能

取組項目(2) がん診療機能の強化

①経営計画は6つの施策から構成されており、
施策単位にシートを作成し評価します。

大きい指標 ○：関連性が大きい指標

成果指標名	成果指標と取組項目の関連性	R6年度 目標値	R6年度 実績値	R5年度 達成率	R5年度 達成度	R4年度 実績値(参考)
三次救急応需率	◎ 救急・災害医療機能の強化	96.0%	91.7%	95.5%	b	89.2%
救急自動車搬送 受入数	◎ 救急・災害医療機能の強化	6,600件	6,578件	99.7%	b	6,846件
災害対策関連会議 開催回数	◎ 救急・災害医療機能の強化	36回	36回	100.0%	a	36回
手術件数（麻酔 科管理下の中央 手術室における 全身麻酔）	◎ がん診療機能の強化・拡充 ◎ 高度・専門医療の確保・充実	4,400件	4,932件	112.1%	a	4,521件
がん登録数	◎ がん診療機能の強化・拡充	1,570件	1,563件	99.6%	c	1,516件
内視鏡検査件数 （内視鏡セン ター管理下分）	◎ 高度・専門医療の確保・充実	7,250件	6,933件	95.6%	b	6,830件
緩和ケア診療加 算算定件数	◎ がん診療機能の強化・拡充	1,500件	1,517件	101.1%	a	1,182件

②各施策に定められた「成果指標」の数値について次のとおり「達成度」を評価します。

a. 目標値以上
b. 令和3年度実績値以上～目標値未満
c. 目標達成率60%以上～令和3年度実績値未満
d. 目標達成率60%未満

成果指標名	成果指標と取組項目の関連性	R6年度 目標値	R6年度 実績値	R5年度 達成率	R5年度 達成度	R4年度 実績値(参考)
職場に対する総合的な防災満足	◎ 高度・専門医療の確保・充実	40.0%	37.7%	93.0%	b	41.6%
1日当たり入院患者数	○ 高度・専門医療の確保・充実 ○ 救急・災害医療機能の強化 ○ がん診療機能の強化・拡充 ○ 高度・専門医療の確保・充実	481人	465人	96.7%	b	457人
1日当たり外来患者数	○ 救急・災害医療機能の強化・拡充 ○ がん診療機能の強化・拡充 ○ 高度・専門医療の確保・充実	1,091人	1,236人	113.3%	a	1,243人
入院患者1人1日当たりの診療収入（入院診療単価）	○ 救急・災害医療機能の強化 ○ がん診療機能の強化・拡充 ○ 高度・専門医療の確保・充実	79,000円	80,075円	101.4%	a	78,147円
入院患者1人1日当たりの診療収入（外来診療単価）	○ 救急・災害医療機能の強化					

②各施策に定められた「成果指標」の数値について次のとおり「達成度」を評価します。

- a. 目標値以上
- b. 令和3年度実績値以上～目標値未満
- c. 目標達成率60%以上～令和3年度実績値未満
- d. 目標達成率60%未満

[illegible]

成果指標及び取組指標等の状況と成果の分析

令和5年度の達成状況

【取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化】
新型コロナウイルス感染症患者受入体制確保のため、流行状況に応じて一時的に救命救急センター病棟の一部をコロナ専用病床にしたことなどに
より三次救急応需率は目標を達成できまされたが、救急自動車搬送受入数は目標値の半数を維持することができた。
令和元年1月に起こった能登半島地震では被災地に災害派遣隊(DMAT)を1回、看護団を6回派遣し、被災地における医療情報収集、病

【取組項目（２）がん診療機能の強化・拡充】
地域がん診療連携拠点病院として、新たに子宮がんのロボット手術の施設基準を取得し、がん診療体制を充実させました。悪性腫瘍手術件数、顕微鏡下、内視鏡下で行う悪性腫瘍手術件数及びロボット手術すべてにおいて前年度を上回り、目標を達成しました。

【取組事例】③「高度専門医療の確保・充実」
地域周産期母子医療センター、精神科救急医療基幹病院、認知症医療医療センター等高度かつ専門的な医療の提供を医師、看護師等の医療スタッフ

【取組項目】 医療安全の確保・拡充

医療事故の未然防止及び原因究明や再発防止に積極的に取り組むため、インシデントレポートの収集と情報の分析を行った結果、レポートの提出数は昨年度と比較し1.3倍と大幅に増加し、要因分析の充実が図れました。また、院内感染対策を徹底するため発熱患者との動線を分けて診察、

絵本等の対応を行いました	今後の方向性
要約項目(4) 前巻『映画館増殖の進化』	

三次救急搬送患者の応需について高いレベルで維持し、地域の基幹病院として「断らない救急」を継続していきます。また、プレホスピタル活動

クステーション設置に向けて消防局と連携、協議を行い、事故現場等へ迅速な救急・医療チームを派遣できるよう機能を強化していきます。また、
 による設備面の強化と人材確保を行い、より効率的な受入れ体制を整えます。

災害拠点病院として、無電供給システム（コジェネレーションシステム）を用いた持続可能なエネルギーを活用し、災害時に必要となる医療機能制を維持します。また、入院患者、医療スタッフの災害時に必要な食糧等の確保を継続して行います。

【取組項目(2)がん診療機能の強化・拡充】
地域がん診療連携拠点病院として、手術・放射線治療・化学療法等の推進、緩和ケア医療の充実、がん相談体制の充実に取り組みます。

【取組項目(3) 高度専門医療の確保・充実】
高度かつ専門的な医療を提供できる医療機関として、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。

医療事故の未然防止及び原因究明や再発防止に積極的に取り組みます。また、院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

※把握率の算出は、把握率以上と令和2年度実績以上、把握率未満、把握率未満99.99%以下、令和2年度実績未満、把握率未満99.99%以下と判定。

※指標達成度の基準 a.目標値以上 b.令和3年度実績値以上～目標値未満 c.目標達成率60%以上～令和3年度実績値未満 d.目標達成率60%未満
※達成状況の基準 Ⅰ.順調に推移した（目標達成した） Ⅱ.一定の進捗があった（目標未達成のものがあるが一定の進捗があった）

Ⅲ.進捗が遅れた(計画策定時【令和3年度】を下回るものが多くあった)
Ⅳ.進捗が大幅に遅れた(計画策定時【令和3年度】を大幅に下回った)

施策1 医療機能の充実・強化

取組進捗状況管理シート

取組項目	令和5年度の主な取組内容	取組目標	R4年度 目標値	R4年度 実績値	R5年度 目標値	R5年度 実績値	R3年度 実績値(参考)
取組項目(1)	救急・災害医療機能の強化						
①救命救急医療の強化	①ソフト・ハード両面での救命救急患者対応能力の強化 なわさきコロナリーホットラインの活用促進 ②救急医療連携の強化 ③各施策に定められた「取組目標」について、進捗状況について取りまとめます。	救急車搬送患者総数	6,400人	6,846人	6,600人	6,578人	5,834人
		三次救急搬送患者数	1,140人	967人	1,160人	1,054人	991人
		かわさきコロナリーホットライン応需件数	100件	52件	100件	40件	27件
		かわさき緊急ホットライン応需件数	180件	121件	180件	0件	193件
		救急医療連携強化	14名	14名	15名	14名	14名
		救急医療連携強化	6名	0名	6名	0名	0名
		救命救急センターへの 専任薬剤師(1名)の 配置	配置	配置	配置	配置	配置
		救命救急センターへの 専任薬剤師(1名)の 配置	設計	土壌対策 準備手続		施工	設計

③各施策に定められた「取組目標」について、進捗状況について取りまとめます。

④「成果指標の達成度」、「取組目標の進捗状況」及びその他の状況を勘案し、次のとおり施策単位に「令和5年度の達成状況」を評価します。

- I. 順調に推移した（目標達成した）
- II. 一定の進捗があった（目標未達成のものがあるが一定の進捗があった）
- III. 進捗が遅れた（計画策定時【令和3年度】を下回るものが多くあった）
- IV. 進捗が大幅に遅れた（計画策定時【令和3年度】を大幅に下回った）

			救急ワークステーションの設置	設計・普工	消防局と調整	建築工事	建築工事	設計
	③プレホスピタル活動の充実	①救急ワークステーションの設置に向けた準備 (川崎病院における市内救急医療派遣事業「Kawasaki ONE PIECE」の発展的解消) ②救急隊からの要請に基づく医療チームの現場派遣	医療チームの現場派遣件数	2件	4件	2件	1件	2件

成果指標と取組項目の関連性

◎：関連性が特に大きい指標 ○：関連性が大きい指標

成果指標	施策 1				施策 2
	救急・災害医療機能の強化	がん診療機能の強化・拡充	高度・専門医療の確保・充実	医療安全の確保・拡充	
三次救急搬送患者応需率	◎				
救急自動車搬送受入台数	◎				
災害対策関連会議開催回数	◎				
手術件数（麻酔科管理下の中央手術室における全身麻酔）		◎	◎		
がん登録数		◎			
内視鏡検査件数 （内視鏡センター管理下分）			◎		
緩和ケア外来患者数		◎			
緩和ケア診療加算算定件数		◎			
紹介率			◎		◎
逆紹介率			◎		◎
地域ケア懇談会開催数					◎
地域包括ケア病床の病床利用率					◎
在宅療養後方支援病院登録患者数					◎
入院における総合的な満足度 （患者満足度調査）			◎	○	○
外来における総合的な満足度 （患者満足度調査）			◎	○	○
職場に対する総合的な職員満足度 （職員満足度調査）			◎		
専門及び認定看護師数			◎	○	
経常収支比率					
医業収支比率					
医業収益額	○	○	○		
純損益					
材料費対医業収益比率					
薬品費対医業収益比率					
委託費対医業収益比率					
職員給与費対医業収益比率					
許可病床に対する病床利用率	○	○	○		
平均在院日数					○
年度末資金残高					
1日当たり入院患者数	○	○	○		
1日当たり外来患者数	○	○	○		○
入院患者 1人1日当たり診療収入 （入院単価）	○	○	○		
外来患者 1人1日当たり診療収入 （外来単価）	○	○	○		○
医師 1人当たり診療収入 （入院及び外来）	○	○	○		
医療安全・感染管理研修受講率				◎	
学会発表件数					
市民向け教育プログラム開催回数					
医療従事者向け教育プログラム開催回数					

施策3		施策4	施策5	施策6		
人材の確保・ 育成の推進	働き方・仕事 の進め方改革 の推進	患者サービスの 向上	地域・社会へ の貢献	収入確保に向 けた取組の推 進	経費節減・抑 制の強化	経営管理体制 の強化
				○		
				○		
				○		
				○		
				○		
				○		
		◎	○			○
		◎	○			○
◎	◎		◎			○
○	○			◎	○	○
				◎		
				◎		
				◎	○	
				○	◎	
				○	◎	
				○	◎	
○				◎		
				◎		
				○	○	
				◎		
				◎		
				◎		
				◎		
				◎		
				◎		
				◎		
		○				
			◎			
			◎			
			◎			